

スポーツ少年団顕彰 令和2年度日本スポーツ少年団顕彰を受賞

昨年12月3日、公益財団法人日本スポーツ少年団本部長より表彰される「令和2年度日本スポーツ少年団顕彰」を、田村市スポーツ少年団本部長の渡辺祐一さん（都路スポーツ少年団団長）が受賞しました。

この顕彰は、永年にわたりスポーツ少年団の指導・育成に貢献し、特に顕著な功績のある方に贈られます。



障害者週間 市内福祉事業所パネル展示・製品販売

昨年12月3日から9日の「障害者週間」に、市役所1階ギャラリーで市内の障害福祉サービス事業所の活動の様子や案内、作品などを展示しました。

展示期間中は手芸アクセサリ、シフォンケーキなどの販売もあわせて行いました。

市は障害のある方への理解を深めるとともに障害のある方が社会、文化などさまざまな分野で活動する意欲を高めるよう関係機関と力を合わせて取り組みます。



百歳賀寿 末永く お元気で

●齋藤 芳子さん

船引町北鹿又の齋藤芳子さんが、昨年12月3日に満百歳を迎えられました。

福島県、田村市、田村市社会福祉協議会などから賀寿や祝金が贈られました。

家族によると芳子さんは、水稲・葉タバコ・養蚕・乳牛・鶏など幅広く農業を営み齋藤家を守ってくれたそうです。「身体が丈夫で仕事に一生懸命、時には仲間との旅行も楽しみ、日々活動的に過ごすこと」が長寿の秘訣と話されていました。



伝統文化 親子で正月飾り作り・もちつきを楽しむ

昨年12月5日、船引就業改善センターで毎年恒例の「正月飾り作り・もちつき」開かれ、親子連れなど約30人が参加しました。

歴史民族資料館の紺野善之さんの指導で、わらを使った正月飾り作り（しめ縄作り）に挑戦しました。

初めての挑戦に苦戦する様子も見られましたが、次第にコツをつかんで上手に仕上げていました。

また、昔ながらの杵と臼を使ったもちつきも行われ、親子で日本の伝統文化に親しみました。



出張販売 「あぶくまフェア 2020」で田村市産品をPR販売

昨年11月20日から22日、福島市のコラッセふくしま（福島県観光物産館）で「あぶくまフェア 2020」が開かれました。

田村市からは、都路町で醸造が開始されたビールを出品した「ホップジャパン」や、市産さつまいも（紅はるか）を原材料としてスイーツポテトを発売した「みやこじスイーツゆい」、都路のたまごを使用したワッフルをキッチンカーで販売する「コカゲキッチン」の3事業所が出店し、田村市産品のPR販売を行いました。



原木しいたけ 新嘗祭へ出品奉納

昨年11月23日に明治神宮（東京都）で行われた新嘗祭（にいなめさい）に、箭内幸一さん（滝根町神俣）が原木しいたけを出品奉納しました。

箭内さんは長年、きのこの品質向上に取り組み、これまで複数回にわたり「福島県きのこ品評会」で農林水産大臣賞を受賞しています。

昨年の大嘗祭当日祭にも出品しており、2年続けての栄誉となりました。



講演会 成年後見制度講演会を開催

昨年11月26日、市文化センターで成年後見制度講演会が開かれました。

講師に谷川社会福祉士事務所（福島市）の谷川ひとみさんをお招きし、「知っていますか？成年後見制度～住みたい場所で安心して暮らせるために～」と題して制度の内容を分かりやすく講演していただきました。当日は、市民や人権擁護委員、民生児童委員など約200人の来場があり、「今まで他人事だったが、これを機に身近な問題として受け止めたい」などの意見が寄せられました。



合同解団式 野球・ソフト・駅伝 健闘を称え、解団

昨年11月26日、「第14回市町村対抗福島県軟式野球大会」「第7回市町村対抗福島県ソフトボール大会」「第32回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）」の田村市チームの合同解団式が行われました。

市長、市議会議長からのねぎらいの言葉に、市野球協会の三瓶智恵会長は「それぞれの代表チームは、素晴らしい戦いをした。来年もいい成績を報告できるよう頑張りたい」と謝辞を述べました。

